

新役員就任のごあいさつ

令和7・8年度 全国社会福祉法人経営者青年会

会長 坂本 和恵

副会長 高桑 勝

瀬戸山 豪

山田 純大

萱垣 憲英

つながり創造委員会 委員長

綱島 由美子

未来経営実践委員会 委員長

片山 雄基

人と組織の未来委員会 委員長

田中 賢介

福祉共創Lab委員会 委員長

高杉 威一郎

福祉業界の次代を担う人材の輩出

全国青年会 会長

社会福祉法人 大慈厚生事業会（兵庫県） 坂本 和恵



この度、全国社会福祉法人経営青年会の会長に選任頂きました兵庫県の坂本和恵です。宜しくお願い致します。

令和7年度は、主たるミッションをChange the world.とさせて頂きました。その言葉には、私達が時代の先頭に立ち、目指す未来を創造する決意と希望が込められています。

本年度、全国社会福祉法人経営青年会は設立30周年という大きな節目を迎えます。これまで積み重ねてきた歩みと想いを大切にしながら、今、次の時代に向けて大きな一歩を踏み出す時です。

福祉の現場は、少子高齢化や地域課題の深刻化、さらにはVUCAと呼ばれる不確実な時代の波に直面しています。だからこそ、若手経営者や現場のリーダーたちが手を携え、挑戦を恐れず、共に学び合うことが未来を切り拓く力となります。

青年会では、4つの委員会運営を中心に多様な学びと実践をつなぐ事業を展開し、会員間のネットワークを強化してまいります。SNSや映像などを活用した情報発信も積極的に行い、誰もが参加しやすい、開かれた組織づくりを進めています。

30年という歴史は、信頼の証であり、新たな挑戦の土台でもあります。2040年の未来を見据え、私たちは福祉の価値と可能性を再定義し、地域に希望を届ける力となっていきます。

全国社会福祉法人経営青年会で、ともに学び、ともに成長し、ともに変化を起こしましょう。

就任のごあいさつ



新たなつながり、新たな挑戦。

全国青年会 副会長
社会福祉法人 向陽福祉会（京都府） 高桑 勝

この度、副会長を拝命いたしました京都府の高桑勝と申します。

前期は、総務DX推進委員会の副会長として活動し、会員の皆さまからの温かいご支援のもと、動画配信をはじめ多くのコンテンツを通じて、資質向上を目指した情報発信に努めてまいりました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

今期は、総務所管のつながり創造委員会の担当副会長を務めさせていただき運びとなりました。これまでの取り組みをさらに深化させ、迅速かつ価値のある情報提供を通じて、より魅力的で意義のある青年会を目指して精進してまいります。

また、今期は全国青年会が設立30周年を迎えます。記念大会やサミットといった大型イベントの開催に加え、マンスリー座談会やセミナー等も含め、これらを会員の皆さまとともに実り多い活動として実現していきたいと考えております。

引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

情熱を分かち合い、未来をつくる

全国青年会 副会長
社会福祉法人 緑風会（鹿児島県） 瀬戸山 豪



この度、全国社会福祉法人経営青年会の副会長を拝命いたしました、鹿児島県の瀬戸山 豪と申します。前期は総務DX推進委員会の委員長、今期は未来経営実践委員会を担当いたします。

社会福祉法人を取り巻く環境が激変する今、未来への不安を抱える方も少なくないでしょう。「経営に必要な知識は？」「他の法人は？」「どう未来を乗り越える？」これらは、まさに私が全国青年会入会前に感じていた正直な気持ちです。

そんな時、同じように悩み、本気でぶつかり、深く学び、心から喜び合える仲間がここにいました。相談できる先輩や支え合える仲間との出会いは、漠然とした不安を希望に変え、共に実践・成長できる唯一無二の存在だと心から感じています。

微力ではございますが、坂本和恵会長を全力でサポートし、会員の皆様が「入会して本当によかった」と心から感じていただけるよう、皆様と共に青年会のさらなる発展へ全力を尽くす所存です。



共に創る人と組織の未来

全国青年会 副会長
社会福祉法人 洗心福社会（三重県） 山田 純大

このたび、副会長の任を拝命いたしました三重県の山田純大です。

前期は法人経営・事業展開検討委員会で副委員長を務めさせて頂きましたが、今期からは「人と組織の未来委員会」を担当いたします。

法人運営において、共生社会の実現や地域包括ケアの推進、事業の多角化・多機能化の実践などを目指すなかで、法人内の職員同士の調和やつながりの強化が不可欠です。当法人においても、あらためて職員間の調和とつながりを大切にしながら事業運営を進めています。

ふくしの質や可能性は、一人ひとりの力によって大きく変わるものです。これまで取り組んできた「心理的安全性」を基盤に、組織が自走する力を高めていく取り組みが求められます。人と組織に向き合う中で課題は尽きませんが、青年会のつながりを生かして、共に悩み、学び合い、未来に向けて強い人づくり・強い組織づくりを目指す活動となるよう努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ともに学び、ともに成長しよう

全国青年会 副会長
社会福祉法人 萱垣会（長野県） 萱垣 憲英



この度、副会長を仰せつかりました長野県の萱垣憲英です。

前期では、福祉施策研究・提言委員会（青年福祉Lab）の委員長を務めさせて頂き、連携学識者の川村尚也教授、園田副会長、田中副委員長を始めとする委員の皆さまのお陰で、輪読・大覚寺サミット・フィールドワーク・セミナー・分科会など数多の取組を実施し、報告書「未来の社会福祉像の構想と実現戦略～福祉領域の様々なステークホルダーとの共創事例からの考察～」を取りまとめることができました。当会のホームページで公開しておりますので、ぜひご覧いただきご感想やご意見などいただければ幸いです。

当会のめざすところは「福祉業界の次代を担う人材の輩出」となっておりますが、すでに多くの有為な人材がいると思います。ぜひ一緒に、様々な領域の学識者との対話を通じて、新たな社会福祉のあり方を模索していきましょう！

就任のごあいさつ



未来に続く、新たな「つながり」を

全国青年会 つながり創造委員会 委員長
社会福祉法人 八千代美香会（中央推薦・千葉県）

綱島 由美子

この度、全国社会福祉法人経営者青年会「つながり創造委員会」の委員長を拝命いたしました、千葉県の綱島と申します。

前期は「総務DX推進委員会」の副委員長として「タテとヨコのつながり構築プロジェクト」や「SGWC（ソーシャルグッド・ウェルフェア・カンパニー）サミット」、株式会社オリィ研究所との共同研究事業など、さまざまな活動に触れる機会をいただきました。特に、皆さんとマンスリー座談会で過ごした時間は、私にとってかけがえのない宝物です。毎月、多岐にわたる話題で参加された皆さんと意見を交わし、共に学びを深めることができました。画面越しではありましたが、同じ悩みを持つ仲間としての共感や、先進的な取り組みをされている皆さんからの良い刺激をいただくたびに、交流することの大切さを感じることができました。

こうした経験から、「つながり」の重要性を強く実感しています。今期、委員会は「つながり創造委員会」へと名称を改めました。私はこの新しい出発に、座談会で得た「対話から生まれる豊かなつながり」という経験を活かし、会員の皆さんが多様な交流を通じて、未来の福祉を共に創り上げる温かい「つながり」を育めるよう、微力ではございますが心を込めて活動してまいります。皆さまの温かいご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

未来へ繋げるために！

全国青年会 未来経営実践委員会 委員長
社会福祉法人 種の会（中央推薦・兵庫県） 片山 雄基



この度、未来経営実践委員会の委員長を拝命いたしました兵庫県の片山雄基と申します。

10年ほど前に本会に入会して以来、青年会の諸先輩方や仲間とのご縁から、たくさんの学びを頂き、自分自身の仕事や法人運営に活かせることがたくさんありました。

これからの社会、“福祉はますます重要で面白くなる！”と感じます。

当委員会は、我々をとりまく様々な課題に対し、業界内の枠だけで考えることなく、幅広い視点を含めて取り組んでいきます。現場での多様な実践がある中で、法人経営や施設運営に迷い・悩む方々や成長させたいと考えている方々の意見を聴きながら進めます。

法人経営・事業展開に関する様々な知見の提供や今後の法人の生き残り戦略等の事例収集などに関するセミナーの開催等を行うことで、“HAPPY”になるための次の一手に繋がれば幸いです。

就任のごあいさつ



皆でつくる、人と組織の未来

全国青年会 人と組織の未来委員会 委員長
社会福祉法人 三社会（東京都） 田中 賢介

この度、人と組織の未来委員会の委員長を拝命しました東京都の田中と申します。

前期は、前身である「組織人材マネジメント委員会」の副委員長として、委員のメンバーと共にセミナー企画や全国大会分科会、動画制作等に取り組んできました。その活動の中で、私自身が特に重視していたのは、これまで委員会で企画したセミナー等で学んできた心理的安全性を高める方法等を活用しながら、委員一人ひとりが積極的かつ主体的に取り組みに参加できる環境作りでした。

今期も引き続き「心理的安全性」をテーマに掲げ、全国青年会のミッションである“Change the World”と融合させながら、委員の皆さんと一緒に、楽しく前向きな新しい取り組みを創り上げていきたいと考えています。

人と組織の未来は、誰か一人ではなく、みんなでつくるもの。その第一歩をここから始めていきましょう。どうぞ宜しくお願い致します。

福祉のすゝめ

全国青年会 福祉共創Lab委員会 委員長
社会福祉法人 峰栄会（静岡県） 高杉 威一郎



この度、福祉共創Lab委員長を拝命いたしました、静岡県の高杉です。

前期（2023年～2024年）福祉施策研究・提言委員会（青年福祉Lab）では、園田氏（前期副会長）と萱垣氏（副会長）を中心に、「未来の社会福祉像の構想と実現戦略～福祉領域の様々なステークホルダーとの共創事例からの考察～」という調査研究報告書を作成いたしました。この報告書では、「未来の福祉とは何か？」という問いに対し「縁のある暮らしの中に群れを成しながら蔓延（はびこ）る幸せ」という結論が導かれています。まだご覧になっていない方は、ぜひご一読いただければ幸いです。

今期も引き続き、学識経験者の川村先生をはじめとする先行研究者の皆さまのご教示を賜り、青春時代のような情熱をもって、福祉について広く、そして深く学んでまいります。

福祉を共創することは、より豊かな“well-being”の世の中を構想する力を育むこと。私はそう信じています。全国青年会の仲間の皆さま、福祉の中の青春（アオハル）をおすすめします。

令和7年7月
全国社会福祉法人経営青年会
